仕様

卓上タイプ(S)

製品		冷温水器
温度調整機		自動
定格		100V, 50~60Hz
型式		WFD-1080S
外形寸法	本体(mm)	300(W)×340(D)×775(H)
	外箱(mm)	310(W)×370(D)×830(H)
重量	本体(kg)	15.1kg
	外箱(kg)	16.5kg
消費電力		80W/350W
温度範囲	冷水	3.5~8.0℃
	温水	80~90℃
容量	冷水タンク	3.8ℓ
	温水タンク	1.3ℓ
ヒューズ		125V, 10A
安全装置		BIMETAL
冷媒		R-134a
冷媒量		28g

床置タイプ(L)

製品		冷温水器
温度調整機		自動
定格		100V, 50~60Hz
型式		WFD-1080
外形寸法	本体(mm)	300(W)×340(D)×1225(H)
	外箱(mm)	310(W)×370(D)×1280(H)
重量	本体(kg)	18.1kg
	外箱(kg)	20.2kg
消費電力		80W/350W
温度範囲	冷水	3.5~8.0℃
	温水	80~90℃
容量	冷水タンク	3.8ℓ
	温水タンク	1.8ℓ
ヒューズ		125V, 10A
安全装置		BIMETAL
冷媒		R-134a
冷媒量		28g

故障かな?と思ったら

現象	確認	対策
COLDランプが点灯しない	●電源プラグが確実に接続されていますか?	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
HOTランプが点灯しない	●HOTスイッチがOFFになっていませんか?	●HOTスイッチをONにしてください。
水が冷えない	●本体がストーブやガス機器、又は直射日光があたる暑い場所に設置されていませんか? ●本体が壁面に近づきすぎていませんか?	●涼しい場所に移動してください。 ●本体を壁面より15cm以上離してください。
お湯が熱くならない	●HOTスイッチがOFFになっていませんか? ●空焚き防止機能が働いている可能性があります。 ●ECOスイッチがONになり、節電モードが働いていませんでしたか?	●HOTスイッチをONにしてください。 ●お客様サポートセンターにお電話ください。 ●節電モード中は、温水の温度が下がります。P.5❻をご参照ください。
通常使用中に異音がする	●平らな場所に設置されていますか? ●本体と接触している物がありませんか?	●安定した平らな場所に移動してください。 ●接触している物を取り除いてください。
サーバークリーニング中に異音がする	●ウォーターパック内の水が空になっていませんか?	●新しいウォーターパックに交換してください。 ※本書「ウォーターパック交換方法」(▶P.9)参照
水とお湯の出が悪い(もしくは出ない)	**●ウォーターパックは空になっていませんか? ●パックからの給水が少なくなっていませんか?**	**●新しいウォーターパックに交換してください。 ●アタッチメントのポンピングを15回程度行ってください。**

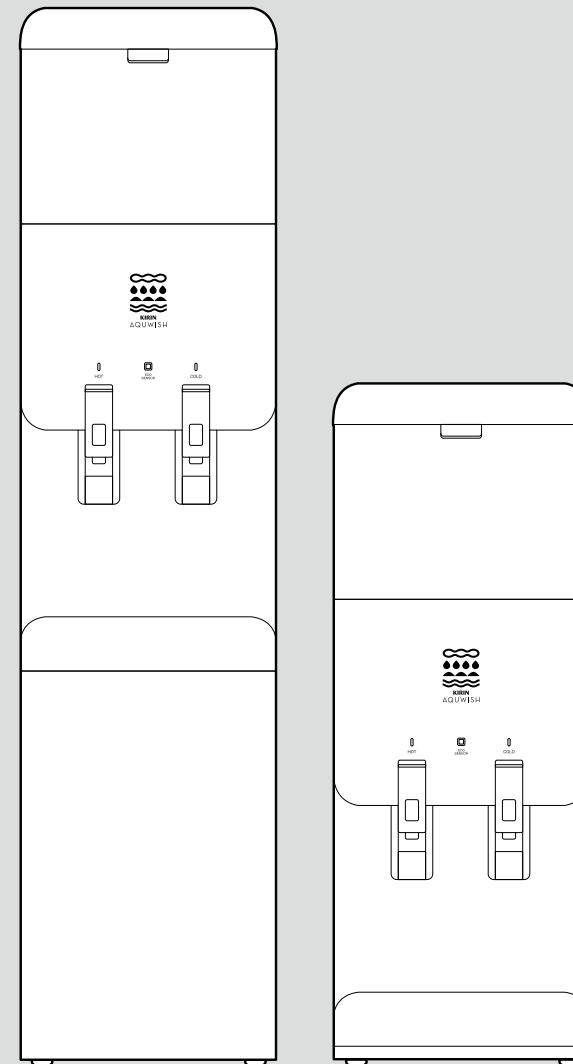
■上記「故障かな? と思ったら」をよくお読みいただき、再確認願います。その上でなお不具合がある場合は、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

お問い合わせ窓口のご案内

KIRIN AQUWISH(キリン アクウィッシュ)お客様センター

0120-668-223

平日・土日・祝日(年末年始は除く)9:00~17:00

KIRIN AQUWISH(キリン アクウィッシュ)ホームページ

http://AQUWISH.COM

HOT/COLDウォーターサーバー

取扱説明書

本取扱説明書は事故を防ぐための注意事項と製品の取り扱い方を記載しております。
ご使用の前に必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる所に保管してください。

型式 WFD-1080

〈2013年 1月版〉

安全上の注意

ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。本文中の「図記号」の意味は次の通りです。

「禁止」を示します。	「必ず守っていただく行為」を示します。
「電源プラグを必ずコンセントから抜いてください」を示します。	「ふれないでください」を示します。
「分解しないでください」を示します。	「アース設置」を示します。

＊お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

据え付け上の注意事項

警告 **誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な事故に結びつく可能性が大きいもの**

厳守
■床が丈夫で水平なところに確実に据え付けてください。転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。
■**たこ足配線をしないでください。**定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

禁止
■水のかかる場所や湿気の多い場所には据え付けないでください。
漏電により、感電や火災の原因になることがあります。

アース設置
■アースを確実に取り付けてください。故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。
アース工事は、最寄りの電気工事店に依頼してください。

注意 **誤った取り扱いをした時に、状況によっては重大な事故に結びつく可能性が大きいもの**

禁止
■ストーブやコンロ横など、油・可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しないでください。
万一漏れてウォーターサーバーの周辺に溜ると、発火の原因になることがあります。

使用上の注意事項

警告 **誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な事故に結びつく可能性が大きいもの**

禁止
■電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるい時は、使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になることがあります。
■電源プラグをウォーターサーバーの背面で押し付けないでください。
電源プラグを傷付け、感電や火災の原因になることがあります。
■濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
■本体に水をかけないでください。電気部品に水がかかると感電や火災の原因になります。
■定格電圧（単相100V）以外で使わないでください。定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。
■ウォーターサーバーの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。転倒・落下によりケガや破損の原因になることがあります。

厳守
■電源プラグはコンセントにプラグの根元まで確実に差し込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。
異常発熱や火災の原因になることがあります。
■製品は室内用ですので室外には設置しないでください。

禁止
■可燃性スプレーを近くで使わないでください。電気接点のスパークで引火するおそれがあります。
■**温水運転時、及びクリーニング時は子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わないでください。やけどをするおそれがあります。**
■水の入っていない状態でHOTスイッチを入れないでください。安全装置がはたらきHOTスイッチが自動的に切れ、作動しなくなります。
■転倒させないでください。お湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。
■傾けたり、ゆすったり、お湯を入れたままで移動しないでください。お湯が流れ出てやけどやケガをするおそれがあります。

厳守
■可燃性ガスなどのガス漏れがあった時には、ウォーターサーバーやコンセントには手を触れず、窓を開けて換気してください。
引火爆発し、火災ややけどの原因になることがあります。

プラグを抜く
■焦げ臭いなどの異常がある場合は、すぐに運転を停止して、電源プラグを抜き、販売代理店又は、当社お客様センターにご相談ください。異常のまま運転を続けますと故障や感電・火災の原因になります。

使用上の注意事項

警告 **誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な事故に結びつく可能性が大きいもの**

接触禁止
■**給湯時や排水時に温水に手を触れないでください。熱湯により、やけどをするおそれがあります。**
■運転時に、サーバー背面の放熱パネルなどの高温部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

使用上の注意事項

注意 **誤った取り扱いをした時に、状況によっては重大な事故に結びつく可能性が大きいもの**

禁止
■電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、また重い物を載せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
■当社製品以外の飲料は入れないでください。機械の故障をまねいたり、水質が劣化する場合があります。

厳守
■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。

厳守
■長期間ご使用にならない時は、必ず、冷水・温水とも排水し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
水の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。

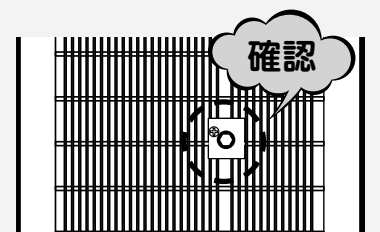
修理時の注意事項

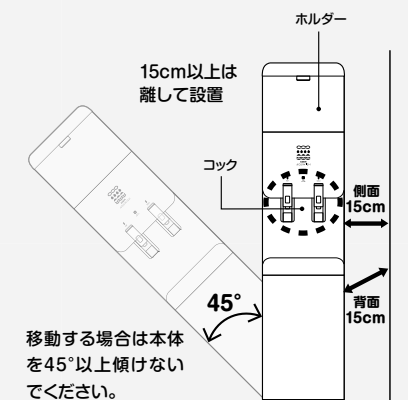
警告 **誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な事故に結びつく可能性が大きいもの**

分解禁止
■修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作して、ケガをすることがあります。

設置場所について

1 排水キャップの確認

輸送中に背面の排水キャップがゆるむことがあります。
しっかりと締まっているかご確認ください。
※ゆるんでいると水漏れの原因になります。

2 設置場所

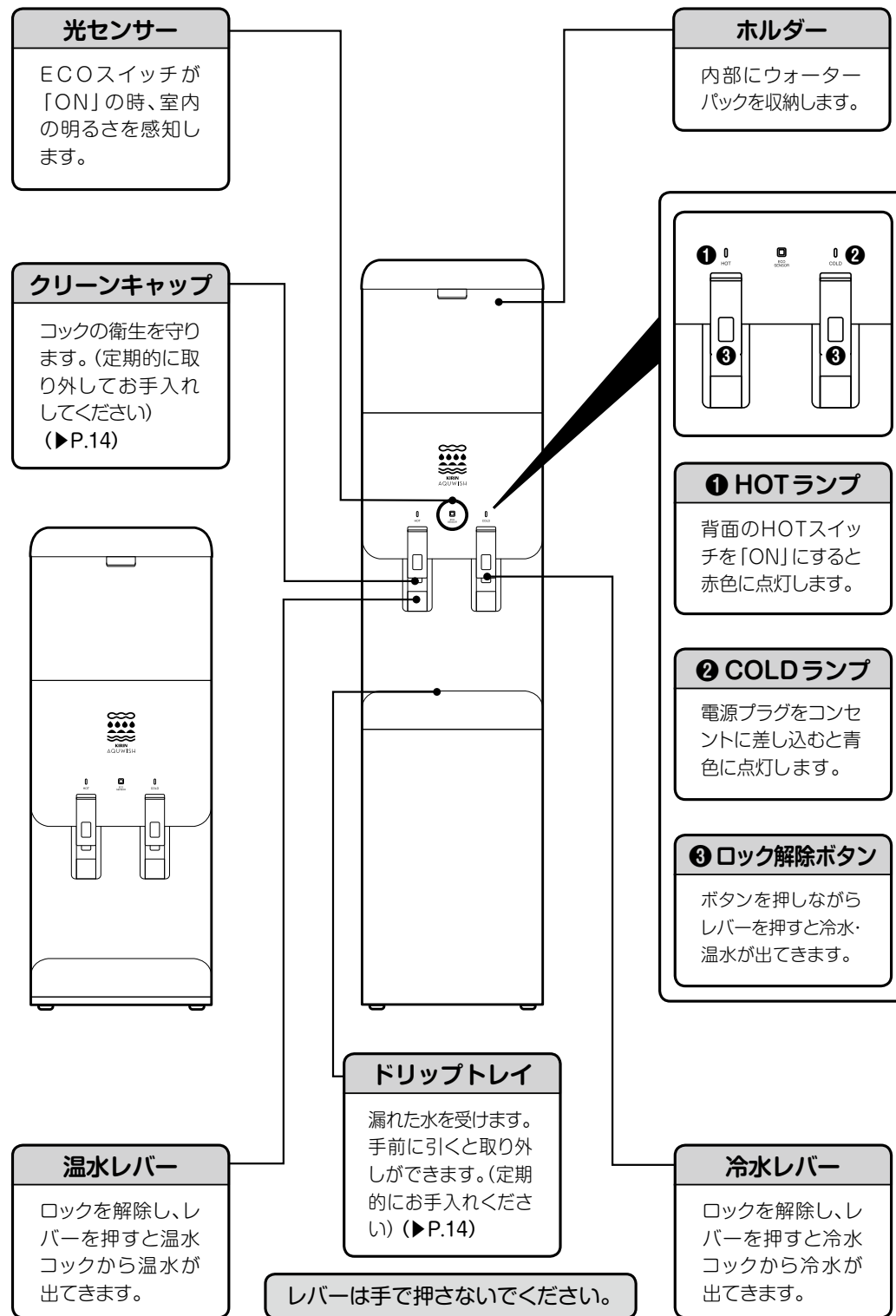
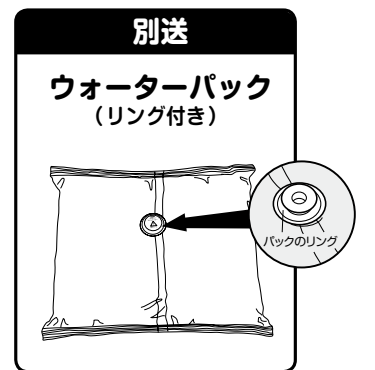
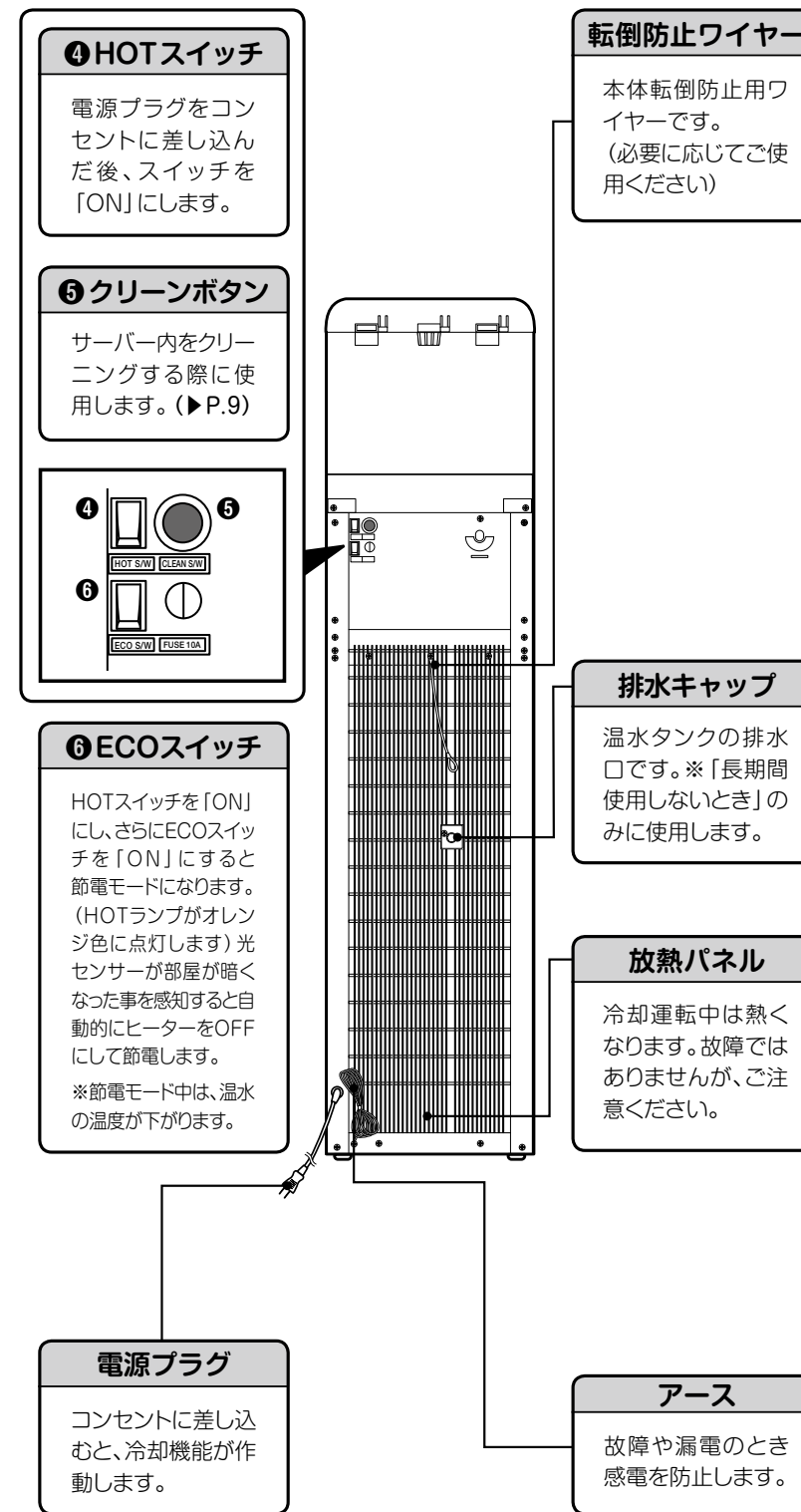
❶放熱パネルが高温になるため壁や家具から背面および左右側面を、15㎝以上離して設置してください。
❷必ず安定した平らな場所に設置してください。
❸寝室など音が気になる場所に設置しないでください。
❹直射日光のあたる場所、ヒーターやストーブなどの高温になる場所、湿度の高い場所や水のかかる場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。
❺室内用ですので、室外には設置しないでください。

3 移動の仕方

❶移動する場合は本体を45°以上傾けないでください。
❷ホルダーが外れたり、冷水・温水が出る恐れがありますので移動の際にホルダーやコックを持たないでください。

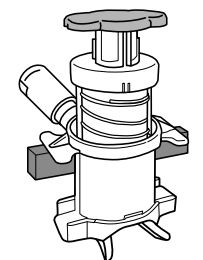
各部のなまえ・はたらき

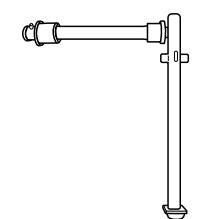
〈ウォーターサーバー 正面〉

〈ウォーターサーバー 背面〉

別送

ウォーターパック
(リング付き)

アタッチメント

ウォーターパックに取り付けて使用します。
※初回配送時は、ウォーターサーバーに取り付けられております。

ニードル配管

アタッチメントに取り付けて使用します。
※初回配送時は、ウォーターサーバーに取り付けられております。

初期設置の手順

はじめに
❶設置場所についてはP.2を参照してください。
❷**手順8まで電源プラグは差さないでください。**
❸サーバー背面にスイッチがありますので、操作しやすい場所に設置してください。

〈アタッチメント 各部説明〉

手動ポンプ（水色）
ポンピングしてウォーターパックの水をタンクに給水します。

レバー（水色）
押し込むとニードル（針）が出て、引き上げるとニードル（針）が収まります。

リング差込口
ウォーターパックのリングに溝をスライドさせて取り付け・取り外しを行います。

上部ツバ
レバー（水色）を引き上げるとき、親指で支えます。
（空パック取り外し時）

下部ツバ
レバー（水色）を押し込むとき、人差指と中指で支えます。
（ウォーターパックセット時）

レバーを下げ ニードルが出た状態

ニードル
ウォーターパックに刺さることで、ここからタンクに水が入ります。

⚠ ニードル部分には手をかざさないでください。

1 アタッチメントを上蓋裏に仮取り付けする

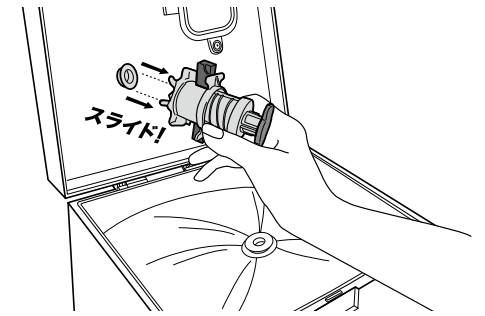
斜めにスライドさせて仮取り付けする。

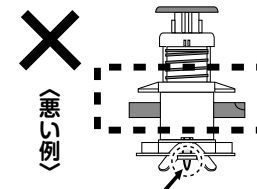
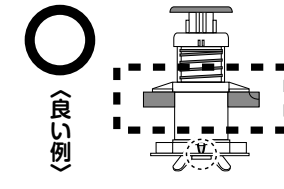
2 ウォーターパックの衛生シールをはがす

3 ウォーターパックをホルダーにセットする

リングがついている面を上にしてホルダーにセットする。

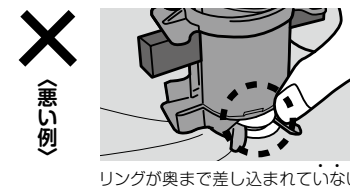
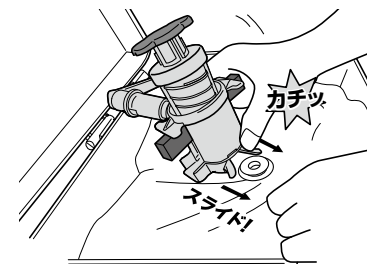
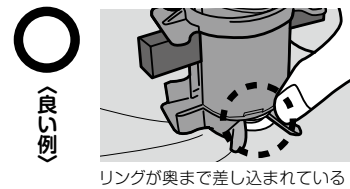
4 アタッチメントを上蓋裏から取り外す

斜めにスライドさせて取り外してください。

5 アタッチメントをウォーターパックに取り付ける **重要!!**

はじめに
レバーが完全に上まで上がっていることを確認する。
※ニードルが出ているとウォーターパックを傷つける恐れがあります。

✕ ニードルが上まで収納されきらない

○ ニードルが上まで完全に収納されている

❶ リング差し込み口をスライドさせ、リングをカチッと音がするまで差し込みます。

❷ 下部ツバに指をそえ、親指でレバー（水色）を押し込みます。

❸ レバー（水色）を矢印方向へ回転させます。

✕ リングが奥まで差し込まれていない

○ リングが奥まで差し込まれている

ご注意!!
レバーは押し込み後、「カチッ!」という手応えがあるまで回転させてください。回転が不十分な場合には、水漏れの原因となります。

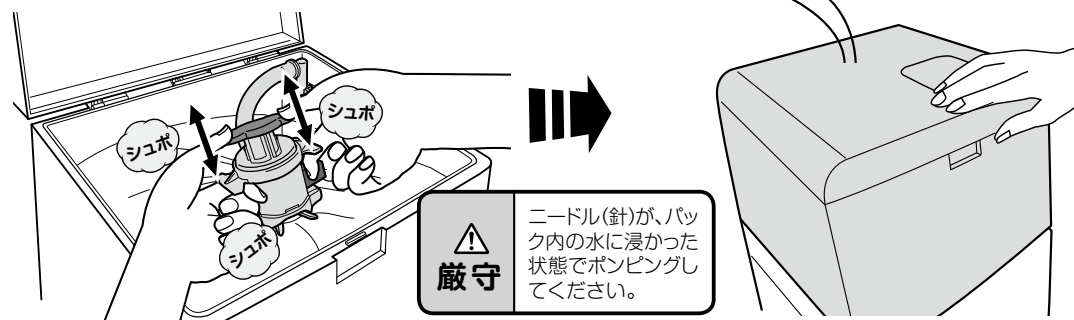
6 タンク内に水を給水する

上部ツバ（白色）に指をあて手動ポンプ（水色）で
“強く”“早く”15回程度ポンピングする。
※ウォーターサーバー内に給水されていく事を確認します。

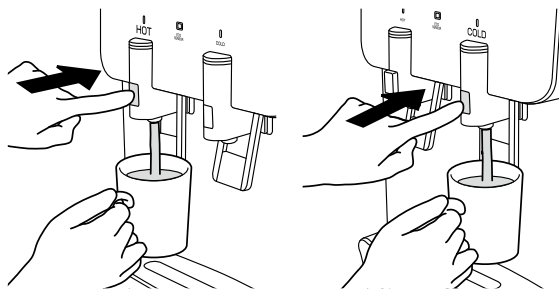
上蓋を閉める。
※閉めにくい場合は、ウォーターパックとアタッチメントの位置を調整してください。

⚠ 厳守
ニードル（針）が、パック内の水に浸かった状態でポンピングしてください。

7 出水確認を行う

⚠ 重要

約5分後、冷水コックと温水コックから、
コップ1杯ほど水を出す。

ロック解除ボタンを押しながら温水レバーを押し込むと水が出てきます。

ロック解除ボタンを押しながら冷水レバーを押し込むと水が出てきます。

⚠ 空焚き注意
ウォーターパックをセットし、温水コックから水が出ることを確認してから、電源プラグを差し込んでください。

8 作動を開始させる

ECOスイッチにつきましては
P.5の❻をご参照ください。

冷水

電源プラグをコンセントに差し込む

COLDランプが青色に点灯

温水

本体背面のHOTスイッチを「ON」にする

節電モード

本体背面のHOTスイッチを「ON」にした後ECOスイッチを押す（必要に応じて）

HOTランプが赤色に点灯

HOTランプがオレンジ色に点灯

約45分で適温になります。

推 奨 ◉適温後、サーバーのクリーニング作動テストを行ってください（約3〜4時間）

サーバークリーニング方法

※サーバー内の衛生状態を保つために、毎日、かつ、ウォーターパック交換後必ず行ってください。

1 ホルダー内のウォーターパックに水が残っていることを確認し、サーバー背面のクリーンボタンを長押し（3秒間）する

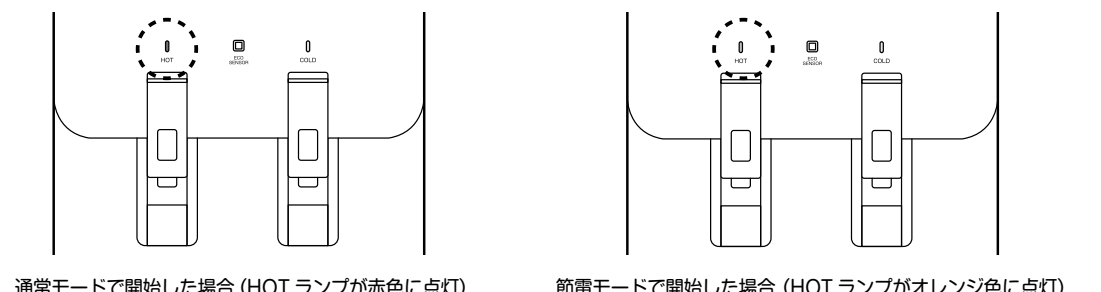
2 約3〜4時間後に自動的に開始前の状態（適温）に戻る
（外部環境により時間は前後します）

クリーニング終了後は開始前の状態に戻ります。（おいしくお飲みいただけます）

※エラー発生時はHOTランプとCOLDランプが緑色に点滅します。（エラー発生時は、強制終了（クリーンボタン3秒間長押し）後、新しいウォーターパックに交換し、手順1に戻ってください。）

▶ウォーターパック交換方法は、本書「ウォーターパック交換方法」（▶P.11）参照

通常モードで開始した場合（HOT ランプが赤色に点灯）

節電モードで開始した場合（HOT ランプがオレンジ色に点灯）

● 何らかのご事情でクリーニングを強制終了させたい場合は、クリーンボタンを再度長押し（3秒間）してください。
（強制終了後、しばらくは冷水コックから温水が出る場合がありますので、ご注意ください）

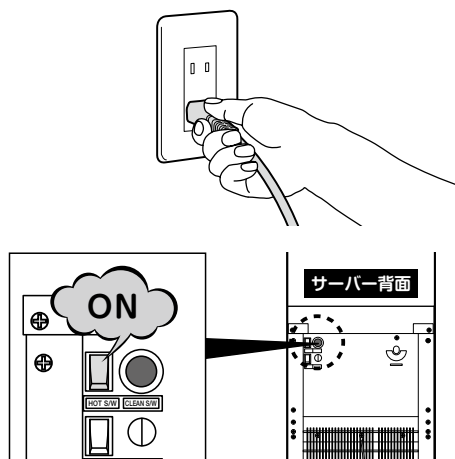
おいしく飲んでいただくために

※開封後は、賞味期限内であっても、お早めに飲みきってください。

コンセントとHOTスイッチは常にONに

当社の水はナチュラルミネラルウォーターです。電源を切った状態でいると、タンク内の水質が劣化する恐れがありますので、電源プラグは常に差し込んだ状態でご利用ください。

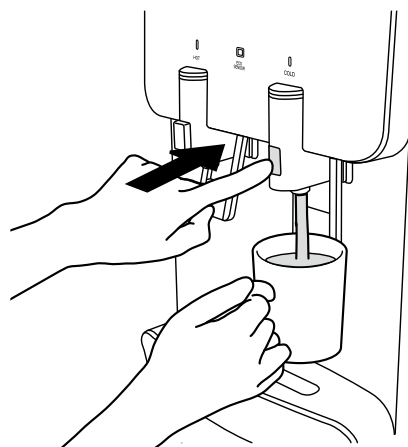
冷水も温水も定期的にご利用

冷水コック・温水コックから定期的に冷水や温水を出してください。それによりタンク内の水が循環し、水質が保たれます。タンク内の水の滞留は避けてください。

冷水・温水を出すとき（チャイルドロック機能）

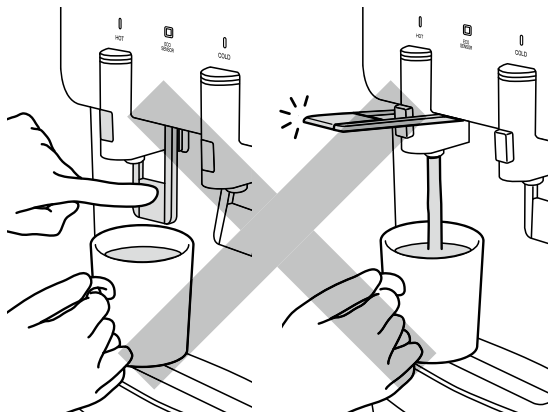
お子様が誤って使用しないようロックがかかっています。

①ロック解除ボタンを押しながら、冷水・温水レバーを押し込むと水が出てきます。

②レバーを元に戻すと、ロックがはたらき、水が止まります。

※ロックがかかっていても、熱湯の滴がおちることがあります。お子様がコックやレバーに触らないよう十分ご注意ください。

冷水レバー温水レバー

① 手でレバーを押すと、火傷のおそれがありますので、カップや容器で押してください。

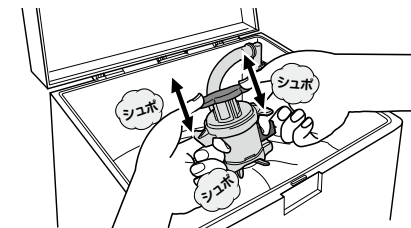
② 冷水レバー、温水レバーは手前に引上げて使用しないでください。

※ドリップトレイ（受皿）の上に、コップなどを置かずに手に持ってください。

ウォーターパック交換方法

※コックから水がでなくなりましたら、ウォーターパックの交換目安です。

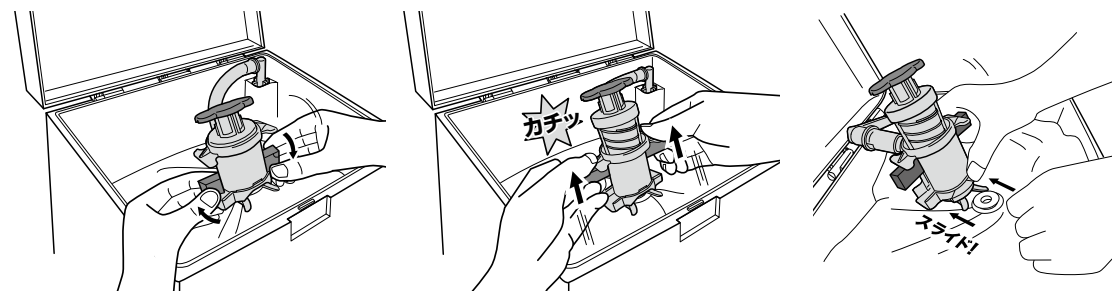
1 ウォーターパック内の残水をできるだけ吸い込む

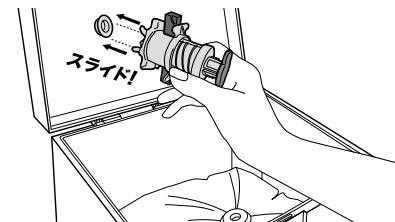
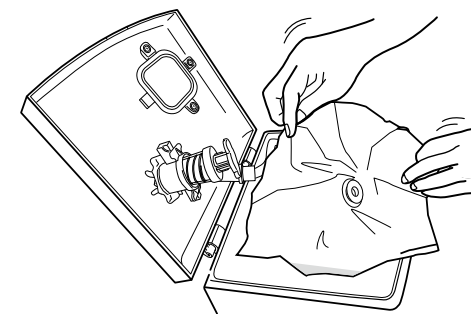
手動ポンプ（水色）で"強く""早く"15回程度ポンピングする。

※ウォーターパック内の残水を吸い込みます。

2 アタッチメントを取り外す

❶ レバー（水色）を矢印方向へ回転させます。

❷ 上部ツバに指をそえ、レバー（水色）を「カチッ!」と音がするまで引き上げます。

❸ 空パックをスライドさせながら取り外します。

3 アタッチメントを上蓋裏に仮取り付けする

斜めにスライドさせて仮取り付けする。

4 空パックを取り出す

アタッチメント・ニードル配管のお手入れを行ってください。（月1回程度）（▶P.12・P.13・P.14参照）

5 新しいウォーターパックをホルダーにセットし、アタッチメントを取り付ける

※「初期設置の手順2～6」と同様

6 サーバークリーニングを行う

※P.9 参照

アタッチメント・ニードル配管お手入れ方法

※ウォーターパックの交換に合わせて、月1回程度、必ず行ってください。

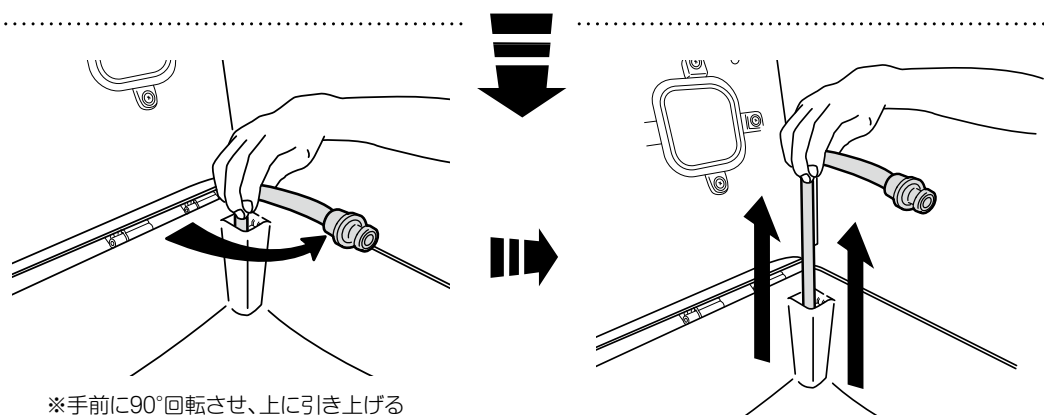
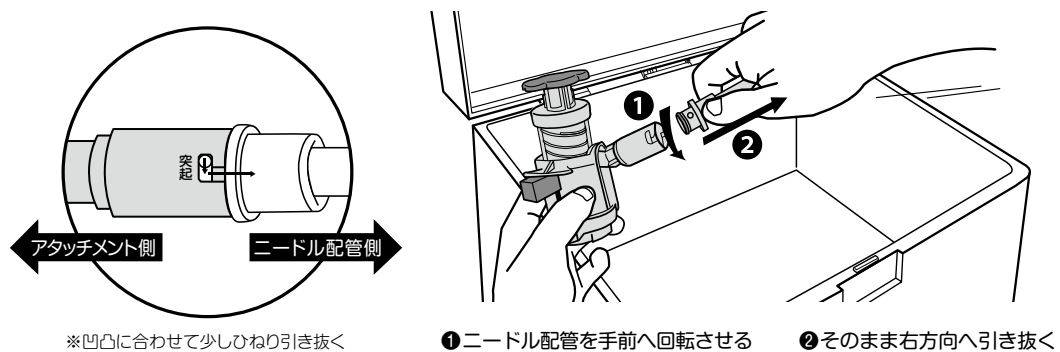
1 充分ポンピング（15回程度）を行ってから、空パックを取り出す 「ウォーターパック交換方法」の 1～4 を実施（▶P.11参照）

▶P.11参照

2 アタッチメントとニードル配管を取り外す

※凹凸に合わせて少しひねり引き抜く

❶ニードル配管を手前へ回転させる ❷そのまま右方向へ引き抜く

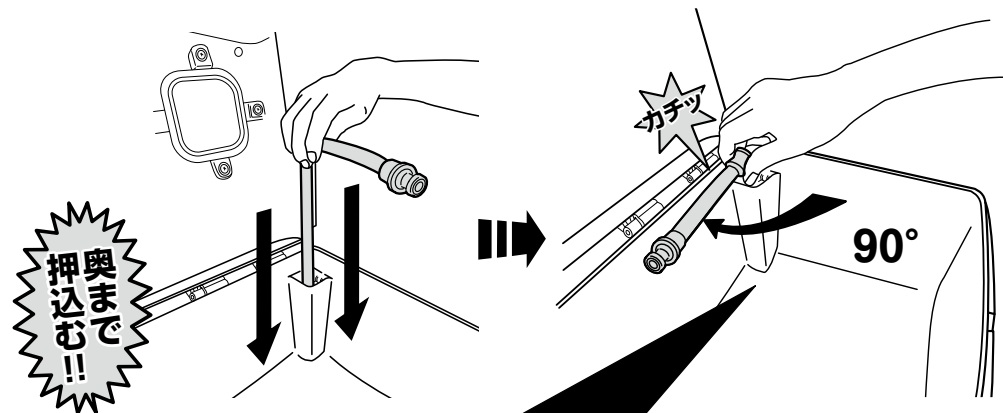
※手前に90°回転させ、上に引き上げる

3 アタッチメントとニードル配管を水洗いする

水洗い後はしっかりと水を切り、外側をキッチンペーパーやきれいな布で軽く拭く。

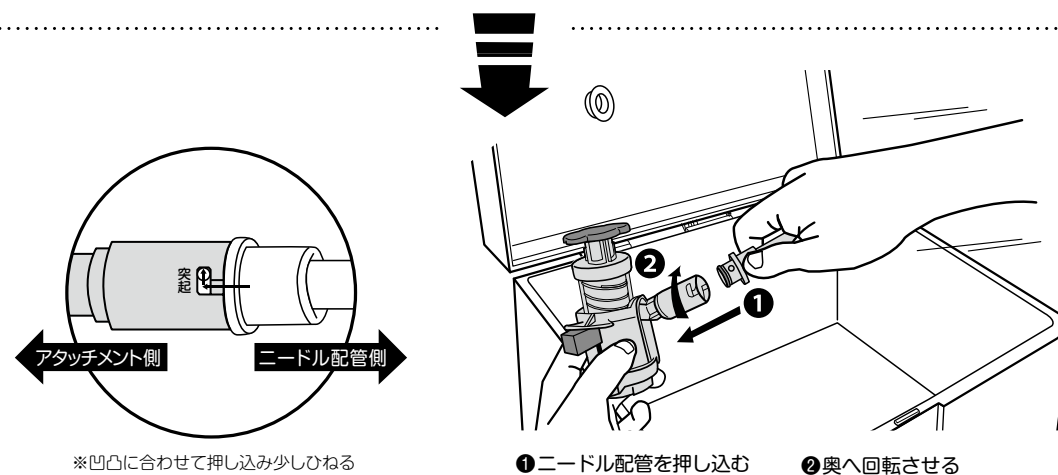
アタッチメントを上下反対に向けてニードル（針）部から配管内に水を通し水洗いする
※ニードル（針）先端部は、とがっているのでご注意ください。

ニードル配管内を水洗いする

4 ニードル配管とアタッチメントを取り付ける

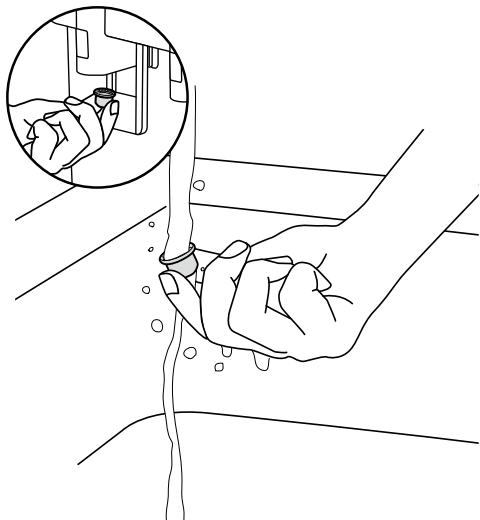
ニードル配管は奥までしっかりと押し込み、「カチッ!」という手応えがあるまで90°回転させる。

⚠ご注意 ニードル配管は必ず奥まで押し込み、「カチッ!」という手応えがあるまで90°回転させてください。ニードル配管の接続が不十分だと水漏れの原因となります。

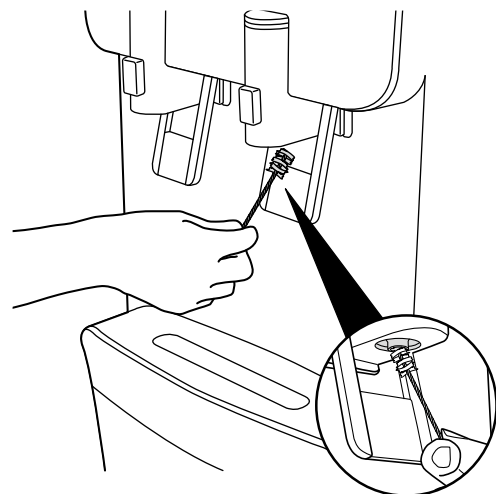
※凹凸に合わせて押し込み少しひねる

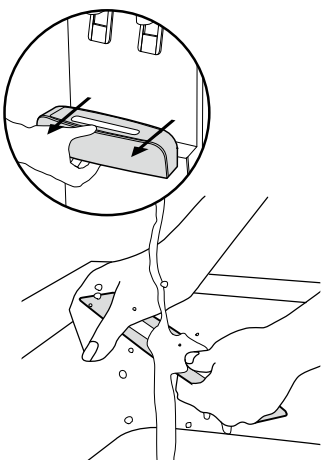
❶ニードル配管を押し込む ❷奥へ回転させる

5 「初期設置の手順」1 ～ 6 を実施（▶P.6 ～ P.8）

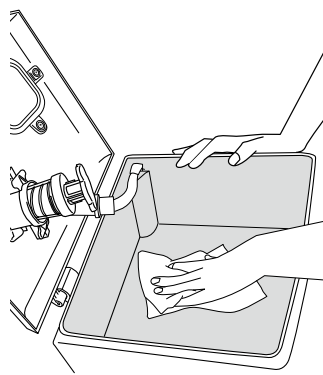
日常のお手入れの仕方

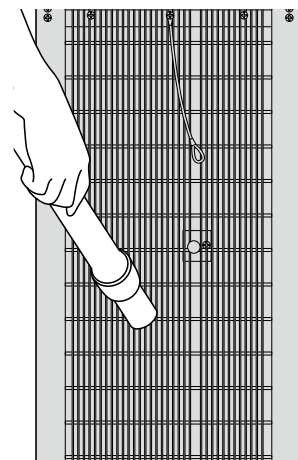
クリーンキャップ

クリーンキャップを左に回して取り外し、水洗いしてください。（アタッチメント、ニードル配管のお手入れと同時に行ってください）

インナーノズル

ブラシや綿棒をクリーンキャップを外したインナーノズルに差し込み、よごれを取り除いてください。（アタッチメント、ニードル配管のお手入れと同時に行ってください）

ドリップトレイ

中性洗剤で汚れを落とした後、よくすすぎ、乾いた布で拭いてください。ドリップトレイは手前に引くと取り外せます。（必要に応じて行ってください）

本体とホルダー内

適量にうすめた台所用中性洗剤を含ませた布で拭きとった後、水でぬらした柔らかい布をよくしぼり拭き取ります。（アタッチメント、ニードル配管のお手入れと同時に行ってください）

背面放熱部

掃除機や布で底部や放熱部に付着した、ちりやホコリを取り除いてください。（年2回程度行ってください）

長期間使用しないとき（長期のご旅行や引越など）

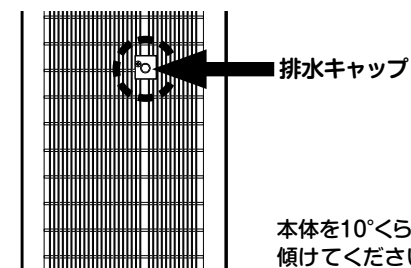
❶ HOTスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、2時間ほど放置してください。（熱湯でヤケドの恐れがありますので温水の温度が下がるのを待ちます）

❷ 「ウォーターパック交換方法」（▶P.11）に従って、ウォーターパックを取り外します。

❸ **冷水** 冷水レバーを押して冷水タンクの水を排水します。

温水 サーバー背面の排水キャップを外し、温水タンク内の水を排水します。
（サーバー内の残量によっては、勢いよく遠くまで温水が飛び出す場合があります）

排水キャップ

本体を10°くらい傾けてください。 10°

❹ アタッチメントとニードル配管を取り外して水洗いし、自然乾燥を行います。
※本書「アタッチメント・ニードル配管お手入れ方法」の手順2.3（▶P.12〜P.13）参照

❺ 製品各部に残っている水気を完全に拭き取ってください。
（水気が残っていると悪臭やサビの原因になります）

❻ サビやほこりなどで故障するおそれがありますので、サーバーのホルダーを取り外し、アタッチメントとニードル配管はビニール袋等に入れ本体はビニール等を被せておいてください。

❼ 再使用する時は、アタッチメントとニードル配管を取り付け（▶P.13手順4参照）、「初期設置の手順」（▶P.6〜8）に従ってウォーターパックを設置し、「サーバークリーニング方法」（▶P.9）を実施してください。